



継続性 安心して長く使える製品を提供

01

雪国仕様^{※1※2}

タワー式

当社では、雪国仕様としてメッキパレットや各種排水装置、樋のヒーティング等、各部品で対策を行っています。



02

地震時も安心な

地震時自動復旧システム^{※3} タワー式

自動復旧システムが地震の際に車がずれていないかを検知し、自動で再稼働の可否を判断。これにより地震後も、動作可能な機械を遠隔操作で迅速に稼働させ、お客様の車を早く出庫可能にします。



03

将来の車の買い替えに対応した
電気自動車 EV 充電システム^{※4}

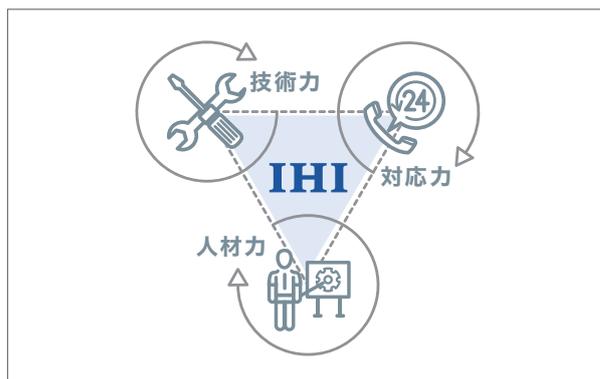
すべての機種において、新設・既設を問わずに EV 充電設備の設置が可能。機械寸法を変更せずに、給電設備を設置することができるので将来への対応も安心です。



04

サービスセンター・PaSCC による
継続的な保守^{※5}

320,000 以上の契約パレット数を誇る IHI グループだからこそ、メンテナンスもすべてにおいて最高品質。すべての駐車場装置を安心してお任せいただけます。(サービス拠点数 175 か所)



※ 1 雪国仕様（メッキパレット）

雪国地方のパレットは融雪剤の影響で経年とともに腐食に至ります。そのため、当社では融雪剤の影響を受けにくいメッキパレットを多雪地域標準としています。

※パレットの形状は、標準の折り曲げパレットでなく、融雪水排水の水勾配を考慮し、「溶接パレット」を採用しております。



東京地方の10年経過したパレット写真

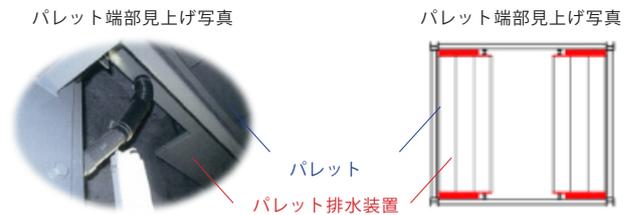


雪国地方の10年経過したパレット写真
(錆付着)

※ 2 雪国仕様（その他の対策）

■パレット排水装置

上部に格納された各車両・パレットからの雪解け水落下対策として「パレット排水装置」を各パレットごとに設けております。



■プラットホームのメッキ仕上

プラットホーム（乗込部の鋼板床）にはメッキ材を使用し、お車に付着した融雪剤による腐食を防止します。



■塗装仕様

装置に対する塗装を構造物用さび止めペイントに変更し、発錆対策を行っております。

■笠木導体避雷設備・笠木ヒーティング

避雷設備は標準の棟上導体式では折損の恐れがあることにより、笠木導体式を採用しております。合わせて笠木には雪庇対策としてヒーティングを設置しております。

屋根はアイルーフまたはサンドイッチパネルにシート防水を施工し、積雪の対策としております。



■屋根排水用豎樋

屋根排水用豎樋にヒーティングを設置しています。（上・下2mまで）

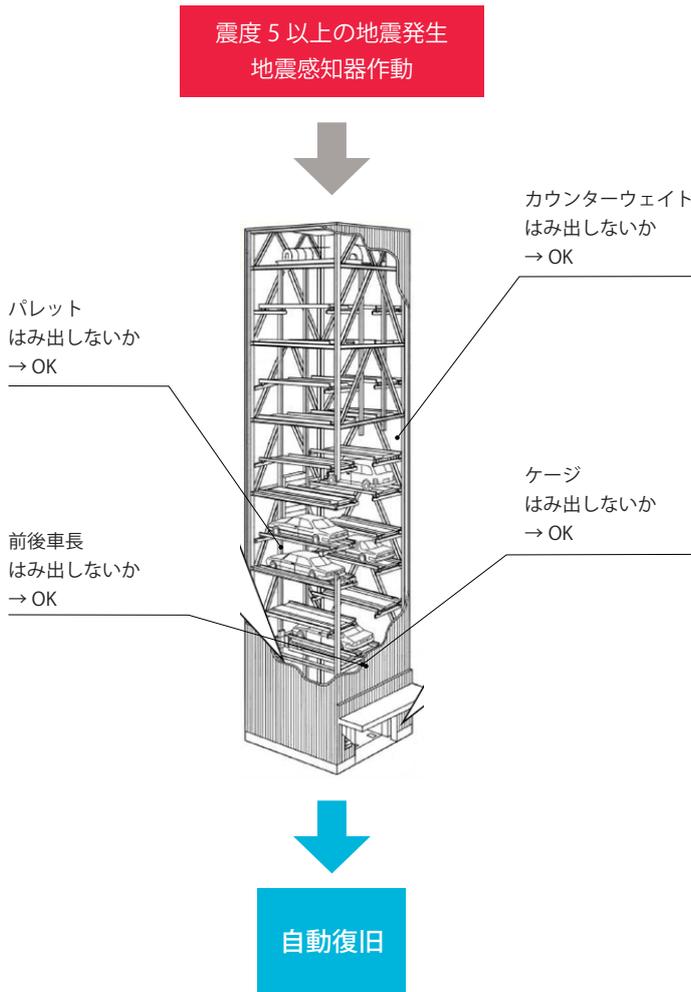
■屋根ハッチ

積雪時も屋根上へ出られるように、屋根ハッチへヒーティングを設置しています。

■油脂類

低温下での使用を考慮し、油脂類を寒冷地仕様へ変更しております。

※ 3 地震時自動復旧システム



自動復旧あり

装置非常停止

↓

装置の安全性を自動的に確認

↓

仮復旧

(サービスエンジニアの出動を待たずに出庫が可能)

※仮復旧では低速出庫となります。

※可動には一定の条件を満たす必要があります。

自動復旧なし

装置非常停止

↓

サービスエンジニアが出動し、駐車場内の状況を確認。
運転の可否を判断。

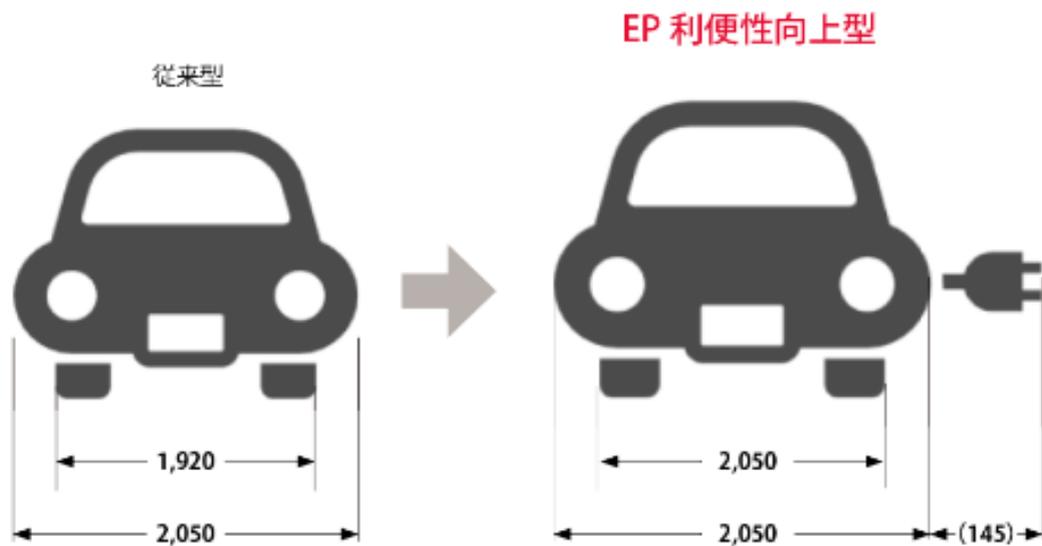
↓

復旧

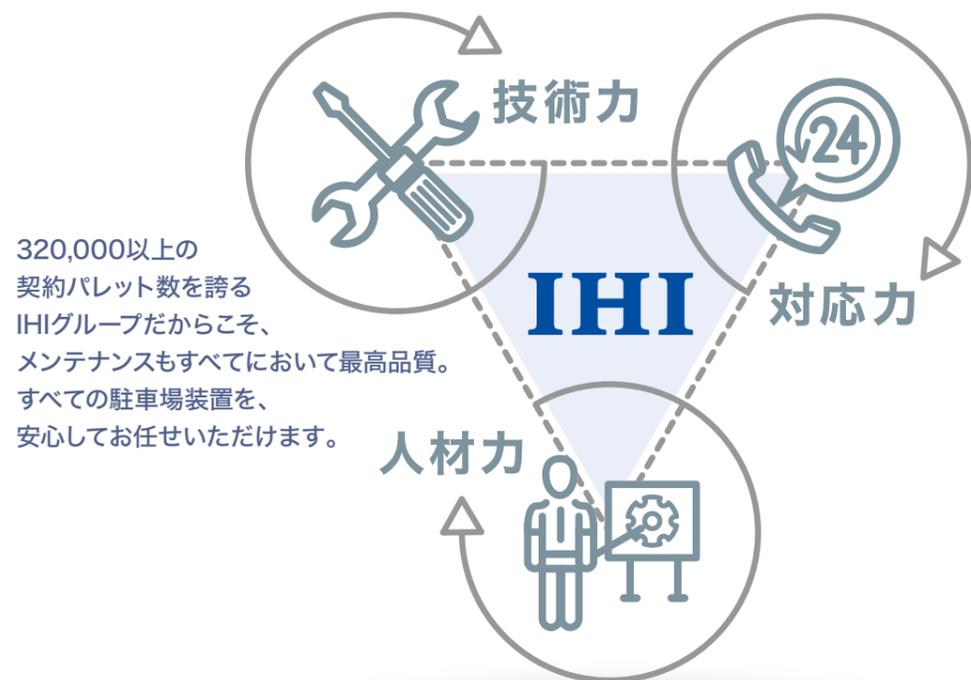
※ 4 電気自動車 EV 充電システム

2020 年 4 月以降に発売予定の新型機種では、全幅 2,300 まで対応となり、入庫可能車種が増えます、

※現在発売中の機種では、充電ガンをつけた際の全幅が 2,050 まで対応しております。



技術力、対応力、人材力。 メーカーメンテナンスだからこそ、 すべてが最高品質。



装置の安全稼働と維持保全



長年にわたって自社製作してきた経験を活かし、それぞれのパーキングに対して最適な点検業務を実施。メーカーならではの技術力を活かして、装置の安全な稼働を実現します。



装置ごとの点検要領書に基づいて点検・塗油を実施

自社点検基準に基づいた計測器具を活用

部品一括管理システムを運用し、全国で情報を共有

緊急時に備えて緊急対応部品(メーカー純正部品)を常備

製造中止部品についても、代替品などをストック

安全安心にご利用いただくために装置の運転を指導

緊急な事態にもスピーディに対応



お客様総合窓口として開設しているのが、パーキング・サポート・アンド・コントロール・センター(PaSCC:パスク)です。24時間・365日体制で専門のオペレーターが対応し、全国ネットワークのサービス拠点から、スピーディにサービスエンジニアが現地に駆けつけます。



24時間・365日体制で、専門オペレーターが対応(PaSCC)

800名以上のサービスエンジニアが待機

全国140カ所以上のサービス拠点から現地に急行

現地への平均到着時間は約30分(交通事情によって異なります)

サービスエンジニアは現地装置の個別情報を把握して復旧作業を実行

広域災害発生時(震度5以上の地震)には、対策本部を設置して現地を巡回

装置に精通したサービスエンジニア



現場でメンテナンスを行なうのは、常に技術力を磨き、安全安心への熱い思いを抱いたプロフェッショナル。沼津工場で専門教育を受けたサービスエンジニアが、信頼のメンテナンスを支えています。



自社独自の教育プログラムでサービスエンジニアを育成

沼津工場のテスト実機で実践的なOJTを実施

公認資格取得(電気工事士・機械保全技能士・昇降機検定資格など)を推奨

事故事例に基づき危険体感道場(沼津工場)で安全訓練を実施

点検前に安全ミーティングを行ない、安全指示書で作業内容と安全衛生を確保